

川原大池公園探鳥会

谷口秀樹

【日 時】 2020年3月1日(日) 10:00~12:00
【集合場所】 現地駐車場
【リーダー】 谷口秀樹(090-5295-1931)

3月に入って最初の探鳥会を当地で開きます。すっかりおなじみになったここの探鳥会ですが、海と池と林のある中々いい場所です。駐車場やトイレも完備してあるので安心して鳥見を楽しめます。

それでは、場所ごとにここで見られる鳥たちを紹介します。

まず、海に行ってみましょう。駐車場からすぐに海岸に建つことができます。海



(写真:クロサギ)

の鳥は遠いところにいるので望遠鏡を使うこととなります。鳥までの距離は遠いですが、途中に遮るものがないのでそこに鳥がいさえすれば見つけることができます。海の端から端まで探すといろいろな鳥がいることに気づきます。まず、海岸にはクロサギが見られるかも。その名の通り真っ黒なサギで、ここでの探鳥会でも見られたことがあります。岩場や磯浜で餌を探す姿が見られるかも。次によく見られるのはイソヒヨドリです。名前の通り海岸の磯で見かける鳥ですが、最近では町中でも繁殖しています。どちらかというと海岸よりも町中の方がよく見られます。世界的に見ると山地の鳥だそうなので、内陸地で見かけるのは本来の姿なのでしょうね。

次に池に向かいます。池には、カモ類が見られます。以前はあまりいなかったオシドリが最近をよく見かけます。また、昔はここでしか見られなかったオオバンもその数を増やしています。少数のキンクロハジロやオカヨシガモも見られています。カイツブリの数が多いのもここの特徴でしょう。最近全国的に数を減らしていますが、ここでの繁殖は順調なのでしょう。池の中央で騒いでいる白い鳥はカモメの仲間です。ここでは、セグロカモメとウミネコが見られます。池に来ては水浴びをしているようです。海鳥とは言え塩がつくのはいやなのでしょう。

の鳥は遠いところにいるので望遠鏡を使うこととなります。鳥までの距離は遠いですが、途中に遮るものがないのでそこに鳥がいさえすれば見つけることができます。海の端から端まで探すといろいろな鳥がいることに気づきます。まず、海岸にはクロサギが見られるかも。その名の通り真っ黒なサギで、ここでの探鳥会でも見られたことがあります。岩場や磯浜で餌を探す姿が見られるかも。次によく見られるのはイソ



(写真:カイツブリ)

最後に、池の周辺で林の鳥を探してみましょう。留鳥のシジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラなどが見られます。時々アオゲラもやってくるので要注意です。冬鳥のジョウビタキ、ツグミ、シロハラも見られるでしょう。今年は数の多いメジロ

やヒヨドリも群れが見られるかも。そして、今年各地で見られているキクイタダキに会いたいものです。残念ながら、秋にここで実施した探鳥会では見られませんでした。しかし、季節の変わり目なので、渡りの途中に立ち寄るかもしれません。日本最小の鳥を探してみましょう。

そして渡りと言えばツルの渡り。昨年も、ここでの探鳥会が終了後にいくつかの群れが見られました。マナヅルの渡りは2月中にほぼ終わります。マナヅルは期待できませんが、3月はナベツルの季節です。。1万羽を超えるナベツルが鹿児島県の出水に飛来しています。そのツルたちが次々に帰り始めます。大きな群れだと1000羽を超えることもあるそうです。そんな群れに出会えたら最高ですね。

ツル以外にも、この時期にはいろいろな鳥たちが渡り始めます。そのうちの 하나가ヤツガシラ。羽根を逆立てたときの姿から名前がついたそうですが、8枚と言うことではないようです。薄茶の地味な色ですが、飛んだときに翼に見られる白と黒のまだら模様がよく目立ちます。「ポポポポ」と面白い声で鳴くそうですが、一度も聞いたことがありません。冬によく見かけるハクセキレイもこの時期になるといろいろな亜種が見られます。最初にやってくるのがタイワンハクセキレイ、少し遅れてホオジロハクセキレイです。それぞれの違いを見比べてもいいですね。

このように、冬鳥と渡り始めた鳥たちが見られるのが、この時期の川原大池です。春の兆しを感じに探鳥会へ参加してみませんか。

